

月日 (校時)	単元名	教材名
9月11日 (水) 3校時	詩を楽しもう	ぼくは川
本時のねらい (3 / 4 時間)		
○ 詩「ぼくは川」を読み、場面の様子や気持ちを想像し、詩のテーマについて考えを伝え合うことかできる。		
評価規準		
読 叙述をもとに、詩の世界を想像して読んでいる。(発言・ノート)		
学習課程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
【導入】 10:20 ふり返り 問いの共有	1. 前の時間の「ぼくは川」の学習について、ペアでふり返る。 ・この詩では、「ぼく」が「川」にたとえられています。 ・この詩は、動きを表す言葉がたくさん使われている詩です。 ・最後に同じ言葉が二度繰り返されています。 ・詩「忘れもの」と同じように、この詩にも作者の思いが込められていると思う。	・ワークシートや学習掲示を見て、ペアで前時のふり返りをさせる。
【展開】 10:25 課題把握 ・シラバス ・言語わざ ・キーワード  ・見通し  10:30 解決活動 ・1人学び  10:35 ・班学び  10:45 集団解決 ・学び合い ・考察  10:55 まとめ	2 本時の課題を確認する。 詩「ぼくは川」から伝わるテーマについて考え、話し合おう。 (一人 (5分)・班学び (10分)・学び合い (10分)・まとめ (5分)・振り返り (5分) ) 「自分の考えを詩の中の言葉を使って、理由をつけて伝えよう」 「連」「擬人法」「動きを表す言葉」「場面の様子」「人物の気持ち」 ○ 詩の中から気持ちやテーマが伝わる言葉には、どのような言葉がありますか。 ・動きを表す言葉が多くあるので、いろんな気持ちが伝わってきます。 3 詩「ぼくは川」を読み、「ぼく」の気持ちやテーマが分かるような言葉を考える。 ・「じわじわとひろがり」の部分から、少しずつ気持ちが高まっていることが伝わります。 ・繰り返されている最後の二文から、強い気持ちが伝わってきます。 4 各自が考えたことを出し合い、詩のテーマについて話し合う。 ○ それぞれの考えをピラミッドチャートの下位層に出し合い、その言葉から伝わる気持ちについて話し合う。 ○ 出た意見から、この詩で作者が伝えたいことや詩のテーマについてそれぞれの考えを出し合い、班としての考えをまとめる。 5 各班から意見をもとに、全体で詩「ぼくは川」から伝わるテーマについて考えを交流する。 ・動きを表す言葉がたくさん使われているから、勢いを感じます。目の前のことを恐れず頑張ろうという気持ちが伝わってきます。 ・動きを表す言葉もそうだけど、最後の繰り返されている「あたらしい日へ ほとぼしる」という部分から、前向きにいこうという思いが伝わってきます。 6 学習したことをもとに、詩「ぼくは川」から伝わるテーマについて自分の考えをまとめ、まとめ読みをする。 詩「ぼくは川」から伝わるテーマは、前向きにがんばることの大切さや努力することの大切さなどについてです。 ○学習したことをもとに、「ぼくは川」を音読しましょう。	・擬人法や動きを表す言葉などに着目できるよう、児童の発言を整理する。  ・詩の中の言葉から、作者がどのような気持ちなのかを詩の中の言葉を手掛かりに想像することを確認する。 ・見つけた言葉には、線を引き、書き出すようにさせる。 ・思考ツール(ピラミッドチャート)を活用し、見つけた言葉から、詩のテーマについて、各グループで考えをまとめていくようにする。  ・交流場面では、話し手・聞き手のマニュアルを提示し、お互いの意見を賞賛しながら聞き合うようにする。
11:00 【終末】 振り返り	7 学習したことを振り返る。 ・今日の話し合いを通して、班の人が言っていたように、「努力することの大切さ」について、想像して読むことができました。二期、ぼくも苦手なことに前向きにがんばりたいです。	読 叙述をもとに、詩の世界を想像して読んでいる。(発言・ノート)  ・集団解決などから出された意見を参考に自分なりのまとめができるようにする。  ・友達との話し合いから学んだことや自分の生活経験とリンクさせて考えさせるようにする。

